皆さん　新年あけましておめでとうございます。今年が皆さんにとって良い年になることを願っています。そして三学期の始業式に参加してくれてありがとう。皆さんが元気に学校に来てくれることをうれしく思います。

ところが、元日の夕方、隣の石川県能登半島を震源とする地震が発生してしまい、本日までに亡くなった人は１６８名を超え、まだ安否が確認されていない人までいます。現地では生活必需品が不足し、救援を求めている状態で、学校の再開などもまだまだな状況みたいです。共通テストをまぢかに控えた高校３年生などは途方に暮れているのではないかと心配です。

昨年は、ロシアとウクライナの戦争やイスラエルとパレスチナの戦争など世界では悲惨なニュースが溢れました。そして、この震災などの事態に対して私たちにはできることが限られており、無力感を感じることも多いです。またネガティブなニュースは私たちの精神にも悪い影響を与えるとも言います。だからと言って私たちはそこから目を背けるわけにはいきませんが、悪いニュースばかりを見続けていてもいけないと思います。

さて、お正月の新聞のコラムに「今年は辰年。「辰」の文字は「振」と通じ、万物が振るい、草木が成長して姿が整い、活力が生まれるさまを表す」と紹介されていました。目にした人もあるでしょう。新聞では竜が天に昇ることを上げ、新幹線の県内延伸に関連付けて「地域が飛翔する環境を作ろう」と、福井県の人を励ます内容でした。皆さんもお正月を迎えて、気分が改まっていたのではないでしょうか。

新しい一年を迎えるにあたり、ぜひポジティブになって前向きなことも考えて欲しい。この一年になすべきことを、年の初めにきちんと計画を立てて欲しいなと私は思います。そうすることで、その計画が一年の心の支えとなります。そして、その際、１年を見通した目標とともに、短期の目標、いついつまでにこれをする！というふうにスモールステップの目標も立てましょう。一方で、長期の目標、将来は〇〇になる！どのように生きる！も考えると、さらによいと思います。

今日は令和６年最初の始業式ですが、令和５年度３学期の始業式でもあります。節目の時に気持ちをしっかり切り替えて、前向きにそして力強く成長して欲しいと思います。ネガティブな情報は心がつらくなりますが、めげてはばかりではいけません。自分で自分の心を奮い立たせるようコントロールして、困難に耐え、跳ね返しましょう。

３学期は１月から３月までの期間ですが、１学期や２学期と比べて大変短い。あっという

間に過ぎ去ってしまいます。しかし、今年度の総仕上げの大事な時でもあります。

３年生は６５名の人が大学入学共通テストを今週末に受けます。今まで取り組んできたことを信じて、自信を持って共通テストに臨んでください。
また、１月から３月にかけての期間は、自分の選んだ進路についての準備期間です。「もっと時間がほしいのに、日がどんどん過ぎていく。待って欲しいのに行ってしまう」となってしまわないようにしましょう。

２年生は２月６日（火）　総合の「三国地域魅力化プロジェクト発表会」があります。
探究学習の内容は、三国や坂井市の現在ある課題を知り、どうすれば解決できるか高校生としての積極的な提言を行う筈です。坂井市議会や坂井市役所など外部の方々をお迎えしての発表会になります。高校生らしい力のこもった発表を期待します。
２年生の３学期は３年生０学期とも言います。３年生となる心と学習の準備をお願いします。

１年生は 12 月 19 日(火)の「フィールドワーク」準備から本番まで、本当にご苦労様でした。天候恵まれ、生徒の皆さんは十分な取材ができたのではないかと思います。この取り組みの成果はまたまとめたところでお聞きしたいと思います。

三国高校は地域の人や物から学ぶことで、皆さんが成長することを期待しています。これまでも地域と関わりながら、いろいろ気づくことがあったのではないでしょうか？皆さんが地域に出て行くことで、街角にみなさん自身で賑わいを作り出したことに自信を持って下さい。３学期はそれを踏まえた探究をお願いします。

東日本大震災もそうでしたが、地震はその地域に壊滅的な害を与えます。今回の能登半島地震も能登地方にとても甚大な影響を及ぼすでしょう。しかし、私たち日本人はそれを乗り越えて復興することもできます。地域の力はそんな復興の原動力となることでしょう。

みなさんの未来をつくるのは、今のあなた自身です。自信を持って、大切に「今」をつくりあげていきましょう。他の誰のせいでもなく、あなたがつくる「今」こそが、未来へと繋がっているのです。

以上、始業式の挨拶とします。